

# 多様な担い手の確保と稼げる経営体の育成 (地域を担う女性農業者の確保・育成)

上都賀農業振興事務所経営普及部

上都賀地域の地域戦略 「持続可能な上都賀地域の農業・農村の形成」

県実施方針の重点取組事項 「地域農業を持続的に支える仕組みづくり(多彩な人材の確保・育成)」

## 1 取組の背景・ねらい

上都賀地域の基幹的農業従事者は7,836名でその約40%は女性が占めています。しかしながら、50歳未満の女性の基幹的農業従事者は10年間で約40%減少し、農業経営者の中で女性の占める割合は約6%と非常に低い状況にあります。

また、女性農業者組織の高齢化が進み、構成員の年齢層も高く偏りがあることから、若手女性農業者の加入がほとんどない状況です。地域活動やそれぞれの経営の中で重要な役割を担う女性農業者の活力が低下し、農村地域そのものの活気が低迷することが懸念されています。

このため、スキルアップを目的とした講座制研修による女性農業者の支援に加え、新たにSNSを活用した若手女性農業者同士のネットワークを構築し、女性農業者の交流を促進することで地域農業をリードする次世代の女性農業者の育成を目指しました。

表1 設定目標

目標項目		R2 (基準)	R4 (実績)	R5 (参考)	R7 (目標)
若手女性農業者ネットワーク参加人数	目標	—	10名	13名	20名
	実績	0名	6名	17名	—

## 2 活動対象

### (1) 対象名

若手女性農業者 R4年度：49名(参考 R5年度：47名)

### (2) 対象の概要

上都賀地域の女性農業者数※は鹿沼市950名、日光市687名、そのうち50歳未満の女性農業者は鹿沼市74名(8%)、日光市40名(6%)です。これらの女性農業者114名のうち、講座制研修等への参加を希望する49名を対象としました。

※2020年農林業センサス

## 3 活動の内容

### (1) 指導・支援の体制

年度当初に各課普及指導員の協力を得て対象者の掘り起こしやリストアップを行いました。経営普及部全体で組織的に対応出来るよう支援対象者や研修内容に関する情報の共有化を図りました。併せて、上都賀地区農村女性会議や上都賀地方農業振興協議会農業技術担当者連絡部会担い手育成専門部とも連携を図り、対象者の掘り起こしやリストアップを行いました。

## (2) 活動経過

### ア 講座制研修の開催

農業に関する基礎知識についての講座制研修「スタートアップ講座」を開催し、病虫害防除、農薬、簿記及び先進農家の視察など9回開催し、令和3年は12名、令和4年は19名が出席しました。

令和5年度は、「スタートアップ講座」に加え、より高度な農業技術等を学ぶ場として「アクティブ講座」を開催しました。パートナーを含む13名が出席し、SNSを活用した農園のPR手法やGAPへの取組などを学びながら、情報交換を行いました。

### イ 農業女子ネットワークの構築

SNSを活用した農業女子ネットワーク構築に向けては、「スタートアップ講座」を受講した女性農業者の中でオピニオンリーダーとなる農業者2名の協力を得ながら、令和3年11月にLINEグループによるネットワーク「かみつが農業女子」が発足しました。令和4年度は、ネットワークの周知に向けPRパンフレットを作成しました。

令和5年度は、アクティブ講座や交流会の参加者へ名刺型リーフレットをグループへの招待状として、直接手渡しすることにより加入を呼びかけました。

### ウ かみつが農業女子交流会の開催

令和4年は12月に雇用管理についての学習会と併せて、栃木市の農業女子からの事例発表を中心に交流会を開催しました。

令和5年は6月24、25日に日光市で開催された「男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」を契機とした交流会を開催しました。会合で提供される食事や食材の提案等の窓口であるとちぎ農業ネットワーク企業組合から、ホテルではどのような食材を求めているのか、どのように調理されているのかについて講演をいただき、意見交換を行いました。

これまで加入者のいなかった日光市の農業女子が「かみつが農業女子」に加わりメンバーが拡大する契機となりました。



写真1 スタートアップ講座の様子  
※新規就農者向け研修「フレッシュファーマーアカデミー」と共催



写真2 かみつが農業女子



写真3 R4年度開催交流会

## 4 活動の成果

### (1) 女性農業者のスキルアップ

スタートアップ講座やアクティブ講座への参加者からは「大変勉強になった」「自分が普段行っている作業への理解が深まった」などの意見があり、栽培技術の向上や経営改善に意欲的に取り組もうとする思いが強くなりました。また、「自分ひとりで悩まなくていいんだ」という気づきもあり、研修会終了後も積極的な交流が行われ、より参加者同士のつながりが強固なものになりました。

### (2) LINE グループ「かみつが農業女子」誕生

令和3年度に6名が参加し、女性農業者のネットワーク「かみつが農業女子」が結成されました。気軽に交流・意見交換が出来るよう、規約や役職のないフラットで緩やかなつながりとしたこともあり、今年度は、鹿沼市のいちご研修生のパートナーや日光市の新規就農者など新たに11名が加入し、総勢17名と賑やかなグループとなりました。SNSを活用したネットワークは時間や場所を選ばないことから、若手女性農業者が参加しやすく、活発な交流ができるようになりました。



### (3) 「かみつが農業女子」活動と交流の活発化

LINEを活用することで、県内外で開催される様々な研修会やイベントの案内をスムーズに行うことができました。6次産業化や雇用に関する研修会の案内を共有したところ、これまでの周知方法での案内よりも参加者が増えました。他にもインスタグラムなどをフォローし合ったりすることで、交流やつながりがますます活発化しています。それぞれの活動を知ることで励み合う姿勢が見られ、意欲的に経営に参画し、地域のリーダー的存在としての成長が期待されます。

## 5 今後の対応策

### (1) 講座制研修内容の充実

講座受講者のアンケート結果をもとに女性農業者のニーズを捉えつつ、経営普及部内で協議した内容を次年度に反映させ、参加したくなるような魅力ある講座の開催を目指します。

### (2) 「かみつが農業女子」のメンバー確保及び活動の本格化

普及指導員の個別巡回やメンバーからの勧誘などを通じて、更なるメンバーの拡大に努めるとともに、メンバーの意見や要望をふまえながら、交流会やミーティングを開催し、「かみつが農業女子」の積極的なPRや他業種との交流やイベント参加など自主的に活動できるよう支援していきます。そして、様々な人とのつながりが広まっていくことで、自立できる女性、農業経営に参画できる女性、地域で活躍できる女性としての成長を見守りつつ、「地域農業をリードする次世代の女性農業者」の育成を図ります。

(参考)

活動経過

年月	講座制研修	農業女子ネットワーク	交流会
令和3年度	☆スタートアップ講座 9回、12名 ☆アクティブ講座 2回、16名	・ネットワーク化について意見徴収(9月、2名) ・LINEグループによるネットワーク「かみつが農業女子」発足(11月、6名)	12月 2回開催、6名
令和4年度	☆スタートアップ講座 9回、19名	・「かみつが農業女子」加入促進パンフレット作成。	12月16日 6名
令和5年度	☆スタートアップ講座 10回予定、13名見込み ☆アクティブ講座 2回、13名	・「かみつが農業女子」加入促進名刺型リーフレット作成。	6月30日 9名 9月21日 5名